

## 上下水道課が下久屋町の水道会館からテラス沼田へ移転

下久屋町の水道会館にある上下水道課が、浄水場を管理する浄水係を除く管理係、水道係、下水道係と水道料金などを担当する両毛ビジネスサポートシステムがテラス沼田に移転します。

移転は9月23日ごろに完了する予定で、場所はテラス沼田4階の都市建設部フロアになり、都市計画課のとなりが予定され、工事や水道料金などの対応などがテラス沼田でできるようになります。

テラス沼田1階のスーパーが入店予定だった場所をイベントホールとして整備する予算と合わせ、庁舎等複合施設事業として補正予算で提案されました。



## 市議会経済建設常任委員会が市長に提言書を提出

市議会の経済建設常任委員会（井上弘委員長）は、昨年実施した行政調査をもとに沼田市でも生かすべき施策をとりまとめ6月29日、市長に政策提言をおこない懇談をおこないました。



提言では、遊休農地の対策や後継者の育成、有害鳥獣対策の充実、「座・白沢」「南郷市場」の充実など農業施策、市民が沼田市の良さを再認識できる施策やアンケート調査の実施、中心市街地のにぎわい創出の活動や空き地、空き店舗活用などの積極的支援を求めました。



## 給付型奨学金の奨学生を8月から募集

来年度からスタートする「ふるさとぬまた未来創造奨学金」の奨学生募集が、8月3日からはじまります。（募集は9月30日まで）

「ふるさとぬまた未来創造奨学金」は、月額10万円以内を給付する奨学金で、大学等を卒業後5年以上沼田市に在住することなどが条件となり、大学、短期大学、専修学校の学生が対象となります。

10月に一次審査、11月に二次審査がおこなわれる予定です。（お問い合わせは市役所教育委員会 学校教育課にお願いします）



## 歴史資料館で「奈良古墳群」展開催

「奈良古墳群」が今年の2月に県指定となったことから歴史資料館では、4日～31日まで「祝！県指定史跡奈良古墳群展」が開催されています。



「奈良古墳群展」では、県内に2基しかない「ト」字型石室がある10号古墳など古墳の紹介、古墳から出土した甕や玉類、馬具類、武器類などが展示されています。

2020年7月12日

NO. 660

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

**やまびこ**

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料



政府は敵基地攻撃について、日本への攻撃を防ぐため「他に手段がない」場合には「可能」としてきましたが、「平生から他国を攻撃する、攻撃的な脅威を与えるような兵器を持つていることは憲法の趣旨ではない」との見解も示してきました。

敵基地攻撃能力の保有は、軍事費の膨張を際限なく増大させ、北東アジアの軍事的緊張をさらに激化させるだけで、きっぱり中止すべきです。

こんにちは。自民党が「ミサイル防衛に関する検討チーム」を立ち上げ、敵のミサイル発射拠点などを直接たたく「敵基地攻撃能力」の保有に関する議論をはじめました。

安倍首相は、6月18日の記者会見で、自民党国防部会などによる敵基地攻撃能力の保有を求めた提言について、「受け止めていかなければならない」「政府においても新たな議論をしていきたい」とのべ、こうした発言を受け、自民党内では敵基地攻撃能力の保有に関する議論に拍車がかかりました。

こんにちは 大東のぶゆき です

## 続ぶらり散歩 めまた道 利根町あれこれ 特別編その七十

### 星野なかのミシン

星野なかは、安政3年（1856）4月、追貝の星野菊三郎の四女として生まれ、蔵之助を夫として迎え家を継ぎました。

女性たちがくず繭から糸を紡ぎ、自家用の布を織っていたことから星野なかは、それを仕事にして収入が得られるようにと考え、大正15年（1926）に私財を投入し、機織り場を現在の利根小の一角につくり器具も整備し、女性たちに仕事としての意識を持たせました。

星野なかは、機織りを勧めるため専属教師を雇い、材料費も自費で買い、織り上げたものは持ち帰らせていました。

大正時代に星野なかが購入し使用していたミシンが、100年たった今も自宅で使われています。

### 青木の三本辻

青木の多目的研修集会施設近くにある三本辻は、父親が厄年の時、二つ子を箕のなかに入れこの辻にしばらく放置すると厄が払えると言われていました。



年齢による体の部分的な厄除けである六三（ろくさん）除けのお札をこの辻に立てるなど、この三本辻は厄を払う場所として信仰されていたようです。

